

東日本大震災に伴う圭陵会の対応

1. 東日本大震災発生後における対応等

- (1) 震災直後より各地からの問い合わせ・激励を賜った。
- (2) 会員の安否確認、情報収集に努めた。
- (3) 圭陵会・医学部同窓会・歯学部同窓会の諸会議の延期を決定し、その後順次会議の日程を調整・設定した。
- (4) 義援金の受付を開始した。
- (5) 詳細な被災状況について把握作業を行い、その結果に基づき義援金の支給について具体的な検討を加えることとした。
- (6) 圭陵會々報4月号について
圭陵會々報(当初は4月8日発行予定)は印刷会社の状況、圭陵会の今後の会議等の日程変更についての周知等もあり、4月26日に発行した。
なお、4月号の記事は従前通りを基本とし、被災のお見舞い・義援金等については「4月号別冊」の発行での取り組みを行った。

2. 会員の被災状況(平成23年7月21日現在)

- (1) 逝去された方(医学部5名、歯学部4名、計9名)
 - 専14期 齋藤 瑞磨 先生(気仙沼支部)
 - 医4期 渥美 進 先生(釜石支部)
 - 医12期 田中 仁 先生(宮城県石巻支部)
 - 医23期 佐藤 幸弘 先生(宮城県石巻支部)
 - 医32期 村上 静一 先生(気仙支部)
 - 歯2期 村上 德行 先生(気仙支部)
 - 歯6期 黒沢 恒平 先生(相双支部)
 - 歯10期 佐伯 厚夫 先生(気仙支部)
 - 歯24期 高間木 祐一 先生(宮城県石巻支部)
- (2) 行方不明の方(医学部1名)
 - 医18期 熊谷 維克 先生(宮古支部)
- (3) 診療所・住居等の被災状況(原発被害含む)
 - 1) 圭陵会会員
全壊者 82名、半壊者 73名、一部損壊者 368名。計 523名。
 - 2) 圭陵会準会員(学部学生)
保護者(両親)死亡 3名、実家が全壊・半壊 56名。計 59名。
- (4) 被災者総計((1)+(2)+(3)) 592名

3. 圭陵会東日本大震災義援金について

(1) 圭陵会義援金について

1) 義援金募集の開始;平成23年3月18日(金)

圭陵会HPに掲載、また支部長へのFAXにより開始した
圭陵會々報4月号発送の際、義援金のお願いと払込用紙を配布。

2) 応募期間 ;平成23年6月30日(木)まで

3) お見舞金について;被災された会員に対し、お見舞い金を差し上げる。 その詳細については、圭陵会本部で協議し決定する。

4) 義援金の募金状況(平成23年7月4日現在)

547件(個人449件、支部20件、学生父兄75名、その他3件)
募金総額 40,192,000円

5) 今後の対応(平成23年4月14日圭陵会常任幹事会審議)

- ① 義援金の振り分けについては、国等の動向、医学部・歯学部同窓会の義援金の対応、大学・大学父兄会の対応、併せて圭陵会阪神・淡路大震災義援金も参考としながら、その具体的な方法を検討する。
- ② なお同検討にあたっては、被災された会員の把握等の問題もあり、急ぐことなく検討を加えるべきであるということから、幹事数名による検討を行い、その検討内容を7月初めに予定されている常任幹事会・幹事会で協議することとした。

(2) 医学部同窓会・歯学部同窓会等の義援金について

医学部同窓会・歯学部同窓会の各同窓会の各支部に特化した義援金、又岩手医科大学の義援金の公募がされている。

* 各同窓会の義援金の募金状況(平成23年7月12日現在)

医学部同窓会 4支部 2,800,000円

歯学部同窓会 22支部 9,898,182円